

議会活性化推進会議行政視察報告

議会活性化推進会議では、藤沢市、松本市を視察しました。

概要は以下のとおりです。

(実施時期) 令和5年7月18日～令和5年7月20日

(実施都市) 藤沢市、松本市

(実施内容) 藤沢市：タブレット端末の活用について、ペーパーレス会議について、
カフェトークふじさわについて

松本市：タブレット端末の活用について、ペーパーレス会議について、
議会報告会について

〔藤沢市〕

藤沢市議会は、議長諮問機関として議会改革検討会を平成27年6月に設置した。平成27年8月の議会改革検討会においてICT推進等に関する分科会を設置することを確認し、WGとしてのICT検討部会を平成27年10月に設置し、平成30年4月までの2年8か月の期間において、延べ30回に及ぶ会議等の中で、議員へのタブレット端末の配備、会議システム導入等の議論を行った。タブレット端末導入による効果検証として、紙資料削減によるコスト削減効果や、CO₂排出削減効果、職員の負担軽減効果等をまとめた上で導入した。今後の課題として、各党派最大1部までの紙資料配付の運用としているものを完全ペーパーレス化することや、議会Wi-Fiへの個人端末接続不可の課題、文書共有システムのサーバ容量、データ保存期間について議論が必要なこと等が挙げられた。

また、藤沢市議会では、平成25年度から議会報告会・意見交換会を実施しているが、参加者の減少、固定化、年齢層の偏りや市民と議会との間で対立的なムードが生じてしまう等の課題があり、専門家のアドバイスを受けた広報公聴委員会において、「名称やチラシを工夫して、親しみやすいものにする」、「ワールド・カフェ形式を採用し、和やかな雰囲気意見交換を行う」といった議論を行い、平成28年から、カフェトークふじさわに名称を改め実施している。主な特徴としては、中学生以上の若い方も対象であることや、専門のファシリテーターを招き、各テーブルの進行役を大学生が担っていることが挙げられた。

委員からは、ペーパーレス会議導入時の各議員の反応やカフェトークふじさわの運営方法等について質問が出された。



【藤沢市議会にて】

〔松本市〕

松本市議会は、平成 21 年に松本市議会基本条例を制定し、身近な議会、行動する議会を目指して活動している。議会基本条例施策推進組織として政策部会、広報部会及び交流部会の 3 部会を設置しており、議会の ICT 化は議会の機能強化の手段と捉え、議会の機能強化に関する協議・調整を所管する政策部会において、検討を開始した。令和元年 8 月 1 日から統一タブレット端末等の運用を開始（当面は紙資料との併用）し、令和 2 年 2 月定例会からペーパーレス会議を本格実施（原則として紙資料を廃止）している。導入時、導入後には、業者等によるタブレット端末、文書共有システム等の操作研修を複数回実施している。ICT 化推進の効果として、会議中のインターネットによる調査が可能となったこと等による審議・審査機能の向上やコロナ禍等の非常時における議会機能の維持等が挙げられた。

また、松本市議会では、平成 22 年度から議会報告会を実施し、議会の仕組みや直近の定例会審議結果等を報告し、参加者から意見等をもらっている。平成 26 年度までに 35 回実施し、市内全 35 地区を一巡した。平成 27 年度から平成 30 年度までは、市内を 12 ブロックに分け、4 年間で各ブロック 1 回ずつ開催（平成 28 年度からはテーマを決めた意見交換）。平成 30 年度に所管を広報部会から交流部会に変更し、令和元年度に今後の議会報告会の実施方法を検討した結果、各種団体とワールド・カフェ方式により意見交換する方式と市民とワールド・カフェ方式により意見交換する方式に実施方法を整理した。

委員からは、貸与されているタブレットにインストールできるアプリケーションの基準や、ワールド・カフェ方式による意見交換の成果等について質問が出された。



【松本市議会にて】